

# 特集 市民防災の日 大防災訓練が行われました

泉佐野市では、市民一人ひとりが様々な災害についての防災意識を高め、災害に対する備えを強化し、安全で安心なまちづくりを推進するため、今年から毎年11月の第1日曜日を「市民防災の日」としています。

今年の「市民防災の日」となる11月6日(日)、南海トラフ巨大地震を想定した『平成28年度 泉佐野市大防災訓練 ～南海トラフ巨大地震発生 その時あなたはどどうする～』が市内32カ所の避難所など市内全域で行われ、約4,600人が参加しました。

問合せ先 市民協働課



## 午前の部 避難所への避難訓練



午前の部は避難所への避難訓練として、町会や自治会などの自主防災組織と連携した避難訓練が市内各所で行われ、自主防災組織69団体を含めて、合計76の町会・自治会が参加されました。その一部を紹介します。

### ●日根野小学校の避難訓練

日根野小学校では、体育館で救急処置訓練として応急担架の作成法やトレーニングキットを使用した心肺蘇生法の実技が行われました。

昨年発足した女性消防団の団員も、実技指導に活躍していました。



### ●第三小学校の避難訓練

午前9時に市内の防災行政無線からサイレンが鳴り、午前9時3分には市から津波警報を知らせる緊急速報メールが配信されると、避難所である第三小学校にたくさんの参加者が集まりました。

第三小学校の体育館では、市民のみなさんによって速やかに簡易トイレ・簡易ベッドが組み立てられました。段ボール製で、布で囲うことによりプライバシーも保護されていました。



### ●中央小学校

中央小学校では、日赤大阪府支部による応急処置訓練が行われました。「身近なものを使った応急手当」として、タオルやハンカチ、ストッキングなどを使った止血やケガの手当の実演があり、参加者による体験も行われました。



## 午後の部 避難所運営訓練



仙台市からお越しいただいた学校防災・地域防災アドバイザーの吉田亮一さんは、東日本大震災の際に住民主体で17日間にわたり避難所を運営されました。

午後の部は長南小学校において、東日本大震災で実際に避難所運営を行った講師を迎え、各地区自主防災組織などによる「避難所運営訓練」が行われました。

今回の「避難所運営訓練」には、長南小学校の児童、長南中学校の生徒、地域住民の方々、市内全域の自主防災組織の方々、泉佐野市消防団の団員、そして市内の各避難所に2人ずつ配置された地域防災支援員（市職員）が参加しました。

今回は講師の指導により、小学生、中学生、地域住民のみなさんに避難所を運営していただき、自主防災組織のみなさんや地域防災支援員は避難者という設定で、東日本大震災の指定避難所の再現が行われました。



テントの設営



避難スペースの設営



物資の受取



避難所の設営



プールの水をバケツへ



新聞を掲示



炊き出し訓練



炊き出しを配布



避難状況を報告